

平成23年度教育委員会事務点検評価(平成22年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	1
事務事業の名称	生涯学習情報発信事業	担当部課	教育委員会 生涯学習部 社会教育課
		電話番号	04 - 2953 - 1111 内線 5673
実施期間	平成 15 年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H22~24)事業名	生涯学習情報発信事業
	1節 生涯学習の振興		
	1項 生涯学習の推進	個別計画等の名称	生涯学習基本計画
	1目 生涯学習の情報環境の充実		
実施根拠	社会教育法、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律		
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	市民の生涯学習を促進する条件として、情報の提供が必要とされている。公民館等で活動する生涯学習団体の情報が一元化されていなかったため、平成15年度から情報の一元化と発信を行った。生涯学習の中間支援組織である「さやま生涯学習をすすめる市民の会」の設立を機に同会との協働事業とした。		

2 事務事業の目的・内容

目的	住民の学習活動を支援し、多様な学習機会を提供するため、市内で活動中の生涯学習団体の情報を収集・一元化し、市民に発信する。事業を生涯学習の中間支援組織である市民団体と協働することにより、中間支援組織としての力量を上げる。		
対象	市内に在住、在勤、在学する者		
活動内容	市内の公民館・集会所で活動する生涯学習団体のほか、体育施設で活動する団体の情報も加え掲載した冊子『さやま学びの仲間たち(平成22年度版)』を作成し、公民館等公共施設で市民が自由に閲覧できるようにした。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価) <input checked="" type="checkbox"/> 継続	パソコンで情報を取り出せるような環境を整えるための検討を行った。	
環境配慮	資料等を作成する際は再生紙を使用し、部数は必要最小限としている。		
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値の根拠・考え方
(実施動向指標)	掲載生涯学習団体数	目標値	団体	1,500	1,500	1,525	1,525	公民館・集会所・スポーツ施設等に限らず、広く生涯学習関連施設の利用団体へ拡大を図る。
		実績値		1,484	1,509	1,474		
		達成率		98.9%	100.6%	96.7%		
		達成率						
(成果指標)		目標値						
		実績値						
		達成率						
		達成率						

4 事業費

		区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
経費	直接費	予算額	千円	500	500	350	300
		決算額	千円	300	350	350	
		財源内訳	国県支出金	千円			
	その他特定財源		千円				
	一般財源		千円	300	350	350	
	人件費	従事職員数	人	0.22	0.20	0.20	
人件費(従事職員数×平均給与)		千円	2,018	1,839	1,798		
		事業費計(直接費決算額+人件費)	千円	2,318	2,189	2,148	
効率性指標	指標名	掲載生涯学習団体数	団体	1,484	1,509	1,474	※1単位当たりの経費
	単位コスト	1団体あたりの経費	円	1,562	1,451	1,458	

5 事務事業の評価

◆第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4 前年度 4	狭山市生涯学習基本計画の重点プロジェクトに掲げられている事業のひとつである「市民活動団体情報の一元化」に即した事業であり、市民への生涯学習情報の発信に大きく寄与するものである。
	有効性	3 前年度 4	掲載生涯学習団体数が目標に至らなかった。団体への理解を図り掲載を促し、併せて市民への周知と利用の促進を図っていく必要がある。利用の促進を図るために団体情報の検索システムについて検討を行った。
	効率性	3 前年度 3	個人情報の含まれるため、情報提供者への説明と承認が必要なことから、情報収集等に時間を要している。また、情報のデータベース化はできているが、市民が検索できるような環境は整っていないが、そのための検討を行った。
<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 情報の質の向上を目指すとともに、狭山市駅西口公益施設内に設置する生涯学習情報コーナーでの活用を図る。また、パソコン等で情報を取り出せるような環境を整えていく。そのために、より効果的な方法を模索し、市民団体との協働の内容の見直しを図る。		

6 その他(学識経験者の意見等)

学習情報提供の一元化の推進は学習機会へのアクセスを容易にするものであり、重要なことである。しかし、一方、情報化社会の中で多くの情報が提供される状況では、必要な情報にたどり着けるかが重要である。したがって、一元化されていることを周知し、利用しやすい方策の検討と継続的な対応が求められる。この事業は、情報の収集・整理・発信が目的ではなく、市民がこれらの情報を活用しなければ意味がない。したがって、この事業に関する市民の認知度・活用度を調査し、活用度を上げる視点が必要である。